

平成28年白老町議会産業厚生常任委員会協議会会議録

平成28年11月28日(月曜日)

開 会 午前11時52分

閉 会 午後 0時02分

○会議に付した事件

1. 石山工業団地内用地の無償譲渡について
-

○出席委員(6名)

委員長	広地紀彰君	副委員長	本間広朗君
委員	氏家裕治君	委員	森哲也君
委員	松田謙吾君	委員	山田和子君
議長	山本浩平君		

○欠席委員(なし)

○説明のため出席した者の職氏名

経済振興課長 森 玉樹君
経済振興課主査 喜尾盛頭君

○職務のため出席した事務局職員

主 査 増田宏仁君

◎開会の宣告

○委員長（広地紀彰君） それでは産業厚生常任委員会協議会を開会いたします。

（午前 11 時 52 分）

○委員長（広地紀彰君） 協議事項につきましては、お手元にあるとおり石山工業団地内用地の無償譲渡についてということになっています。それでは早速ですが担当課からの説明を求めます。

森経済振興課長。

○経済振興課長（森 玉樹君） 私のほうから石山工業団地内用地の無償譲渡につきまして、お手元の資料にそりましてご説明させていただきます。まず始めに無償譲渡対象地及び相手方でございます。対象地につきましては白老郡白老町字石山323番12、地目が（雑種地）面積が3,548平方メートルでございます。場所につきましては資料の一番最後のページに図面を添付させていただいておりますのでごらん願います。ほぼ中央部に印しております白抜きで囲まれている地番でいいますと68-9、68-10、68-11、68-12がケンコーマヨネーズ株式会社の所有地で、その右側台形の形で黒く塗っている部分につきましては今回の無償譲渡対象地となっております。それでは1ページ目に戻り願います。相手方につきましては東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号、ケンコーマヨネーズ株式会社でございます。

続きましてケンコーマヨネーズ株式会社の進出から操業に至るまでの経緯でございます。平成2年3月30日に石山工業団地分譲申し込み提出を受けまして種々工場立地にかかる協議を重ねた結果、7月31日に工場立地に関する覚書を締結し、その後8月27日には財産処分についての議会の議決を経て8月29日工業用地売買契約締結してございます。その後平成5年8月にケンコーマヨネーズ株式会社の子会社を株式会社ダイエットクック白老として設立しまして工場の建設に着手、その後平成6年2月工場が完成し操業開始されております。こちらの完成された工場につきましては現在ライラックフーズ工場として稼働してございます。さらにその後空き工場となった部分を、こちらにつきましては現ダイエットクック白老工場でございますがこの部分に係ります土地及び建物の財産処分につきましては、平成8年2月22日議会の議決を経て、3月22日工業用地売買契約締結してございます。その後施設の改修を行いまして平成9年1月から現ダイエットクック白老工場の操業開始がされ現在に至っております。

続きまして今回の無償譲渡の理由でございます。今回、親会社でありますケンコーマヨネーズ株式会社より、惣菜需要の拡大を背景に白老新工場の建設を平成31（2019）年3月までに行うにあたりまして、建設予定地内にあります一部町有地を進出時の覚書により無償譲渡するものでございます。本件、当該地につきましては覚書及び売買契約締結時に旧建設省の河川敷地として未造成地でありましたことから、白老町の所有になった時に「無償譲渡」するものとしまして、覚書において定められてございます。以下、覚書の抜粋でございます。読みあげてさせていただきます。白老町（以下「甲」という。）とケンコーマヨネーズ株式会社（以下「乙」という。）は、乙が白老町石山工業団地の土地に製造工場を立地するに際し、次のとおり覚書を締結する。1、甲は白老町字石山

68番9、68番10、68番11、68番12及び河川敷地（石山工業団地内）の土地44,074.65平方メートルを乙に譲渡するものとする。そのうち40,526.21平方メートルについては、有償で譲渡するものとし、別途甲、乙の間で売買に関する契約を締結するものとする。残りの3,548.44平方メートル（河川敷地）については、白老町の所有となったときに無償で譲渡するものとする。となつてございます。なお、白老町の所有になった時期につきましては、平成6年3月25日づけで旧建設省と白老町との間で土地交換等契約し白老町の所有となつてございます。

続きまして裏面2ページ目をごらん願います。新工場の概要でございます。施設の概要につきましては、株式会社ダイエットクック白老が新工場を建設するものでございます。詳細につきましては現時点では未確定でございます。完成時期につきましては、平成31年3月までを予定しております。建設理由につきましては、女性の社会進出の進展、単身世帯の増加などにより調理された惣菜を自宅で食べる、いわゆる「中食」の需要が拡大しておりまして、生産規模の拡大目的に工場の建設を行うものでございます。製造品につきましては、詳細はこれからとなりますが現在生産しておりますサラダ、和惣菜、冷凍食品などを予定されてございます。

続きまして3ページでございますが、ケンコーマヨネーズ株式会社、株式会社ダイエットクック白老、ライラック・フーズ株式会社の会社概要につきまして、記載させていただいてございます。以上で説明を終わります。

○委員長（広地紀彰君） これより委員各位からの質疑を受けたいと思います。何か質問のある方どうぞ。

氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 氏家です。無償譲渡の理由等については今の説明で理解しました。今回新設される新たな工場建設に関しまして若干情報をいただきたいのです。全体的な工事、金額的なものの規模的なものが見えないのですから、わかっている範囲で教えていただければお願いしたいと思います。

○委員長（広地紀彰君） 森経済振興課長。

○経済振興課長（森 玉樹君） 実は私どもの入手している情報につきましても、新聞報道されている情報より詳細な部分については収集できていない状況でございます。その中では自社工場が2つ、関連工場で2つこれにともないまして総額約150億円規模の予定をしていると伺っております。

○委員長（広地紀彰君） ほかに委員からありませんか。よろしいですか。

山本議長。

○議長（山本浩平君） これはあくまでも工場はダイエットクックさんが工場を建設して、無償譲渡の相手が親会社のケンコーマヨネーズということなのですね、これを見るかぎり確認です。

○委員長（広地紀彰君） 森経済振興課長。

○経済振興課長（森 玉樹君） 山本議長おっしゃったとおりでございます。土地の譲渡相手につきましては、ケンコーマヨネーズ株式会社、工場の新建設者につきましては株式会社ダイエットクック白老を予定してございます。

○委員長（広地紀彰君） ではほかに。よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

◎閉会の宣告

○委員長（広地紀彰君） 以上で産業厚生常任委員会協議会を終わりたいと思います。ご苦労さまでした。

（午後 0時02分）